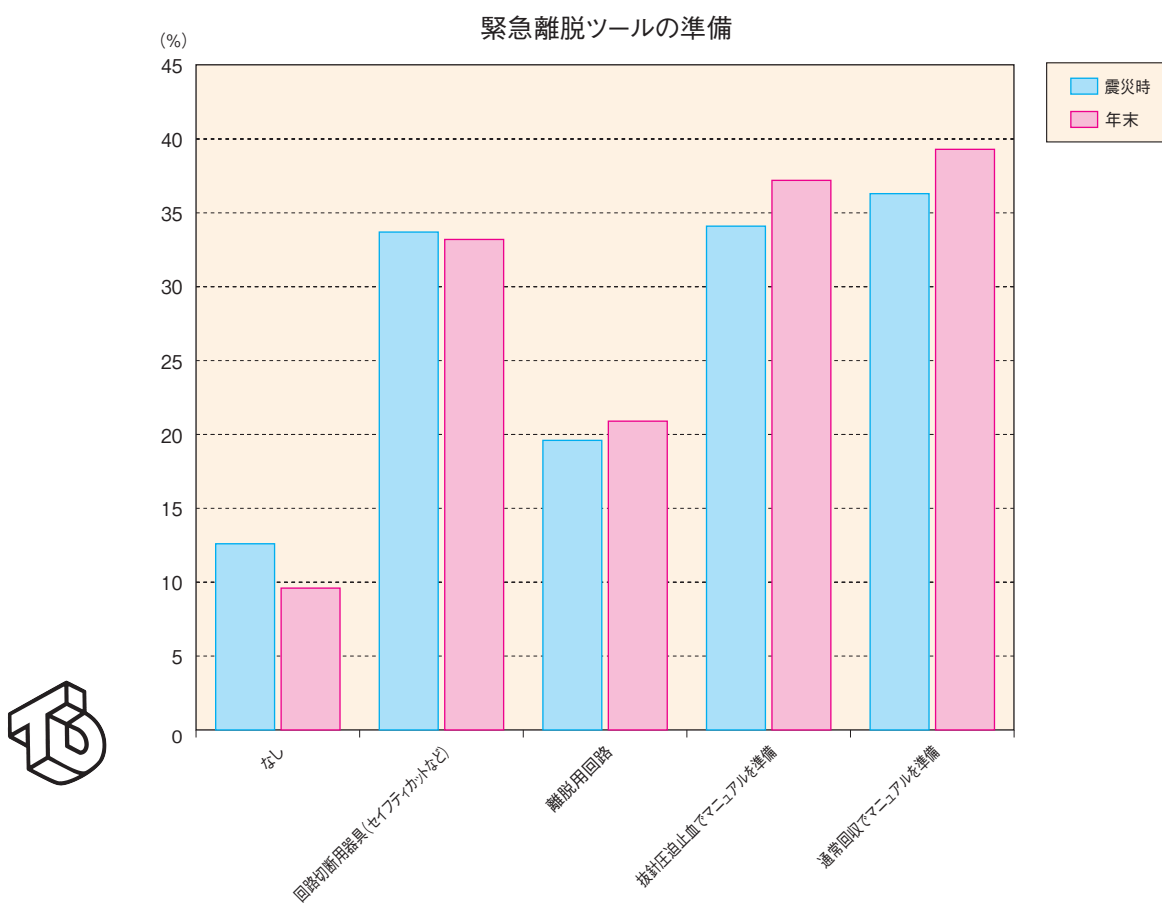


2) 震災関連調査

(9) 緊急離脱ツールの準備 (図表34)



緊急離脱ツールの準備

	なし		回路切断用器具 (セイフティ カットなど)		離脱用回路		抜針圧迫止血で マニュアルを 準備		通常回収で マニュアルを 準備		合計		不明		総計	
	震災時	年末	震災時	年末	震災時	年末	震災時	年末	震災時	年末	震災時	年末	震災時	年末	震災時	年末
施設数	445	339	1,192	1,174	694	738	1,205	1,317	1,283	1,388	4,819	4,956	37	31	4,856	4,987
3,536施設に 対する比率	(12.6)	(9.6)	(33.7)	(33.2)	(19.6)	(20.9)	(34.1)	(37.2)	(36.3)	(39.3)						

「震災時」と「12/31現在」の両方に回答がある施設：3,536施設（複数回答項目）

解説

緊急離脱ツールの準備について、震災時と年末時の両方に回答があったのは3,536施設であった。セイフティカットなどの回路切断器具は33.7%から33.2%と若干減少したが、抜針圧迫止血、通常回収の特別な器具の必要がない方法が増加した。